

北寺塔について

孫権 「今回は蘇州にある『北寺塔』(Bei Si Ta)について説明するぞ」

朱然 「北寺塔...ということは、寺の塔なのか？」

孫権 「まあ、そうだな。『北寺塔』は『北寺』という寺にある塔で、俺が母上を記念して建てた塔だと言われている」

朱然 「『**と言われている**』って...曖昧な言い方だな。お前が建てたのなら『俺が建てた』と断言すればいいじゃないか」

孫権 「いや断言しない方が、後世の者に謎を残して...面白味が出て良いじゃないか(ヒソヒソ)」

朱然 「あっ、そうか(コソコソ)
ええと、塔のある『北寺』は、お前が母君のために建てた邸宅で、蘇州最古の仏教寺院だ...と後世では伝えられているらしいな」

孫権 「ああ。この『北寺』は、もとは『報恩寺』と

呼ばれていて、『**北寺塔**』ももとは『**報恩寺塔**』と呼ばれていたんだ」

朱然「ふうん、なるほど。ところで『**北寺塔**』は、一体何のために建てられたんだ？」

孫権「前述したように、俺が「**母上を記念して建てたもの**」だと言いつたされている。俺が母上の恩に報いるために建てた、という話も残っているぞ」

朱然「この『**北寺塔**』...お前が建てた後も、何度か改築されているみたいだな」

孫権「どうも、そうらしいな。数度の改築や炎上を経て、南宋の**紹興23年(1153)**に現在の形に建てられ、**1965年**に大掛かりな改修がされたらしい。まあ、俺達の時代から何百年も後の話だから...俺が知ってるわけ無いんだけどな(笑)」

朱然「**高さは76メートル**で...へえ、**蘇州**一高い塔なんだ」

孫権「塔は**八角九層**。内部は外廊、内廊、塔心の3つの部分で構成されている」

朱然「八角九層？」

孫権「**9階建て**で、**8つの面**を持っているという

ことだ」

朱然「9階建てで高さ76メートルか。...そう
いえば、この塔は登ることができるの
か？ 上に登ったら、さぞかし見晴らし
が良いだろうなと思ったんだが」

孫権「ああ、7階までは木像の階段で登ること
ができるらしいぞ。
ただ、最上階の7階に登るには、入場料
とは別に1元払わなければならないから
... 気をつけるようにな」

朱然「そういえば、入場料とかも払うんだよな。
旅は出費が多いから、あらかじめ料金が
どれくらいか把握しておいた方が便利か
も。で、いくら払えば良いんだ」

孫権「参観料は7元だ」

朱然「7元だな。よし」

孫権「登塔料は5元」

朱然「.....えっ？」

孫権「最上階に登るのに、1元」

朱然「ちよっ、ちよっど待て！入場するのに7
元取られて、塔に登るには別に5元？

その上、最上階に登るには1元払わなきゃならないって...ちょっと取り過ぎじゃないか？」

孫権「俺が金取ってるわけじゃないぞ！料金を決めたのは後世の者なんだから...俺に文句言うなよな」

朱然「それもそうか。まあ、料金は最大13元かかるってことで」

孫権「住所は『江蘇省蘇州市人民路652号』ということだが...これだけ聞いても、どこにあるのか良く分からないな～」

朱然「詳しい行き方については、また別に取り上げるということで」

孫権「まあ、時間があれば『北寺塔』観光も良いと思うんで...」

朱然「今回の文章も参考にしてみてくださいな」